

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		保健3(1)			
対象年次			期別	必要面接時数	レポート数
原則 3年次			通年	1	3
科目の概要	「生涯を通じる健康」「健康を支える環境づくり」 私たちの心身の変化を知り、自然環境についてや食品の安全性・保健活動や社会的対策のしくみなどを理解する。 保健・医療のサービスや医薬品制度のしくみなどを理解する。				
科目の目標	健康は生涯を通じた人間の生活の土台となるものである。保健・医療のサービスや医薬品制度を学び、それがもたらす効果や大切さも理解することができるように知識を養う。また、心身の変化や自然環境、社会制度のしくみなどについて理解する。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用	保健や医療のサービスの様々なしくみについて理解する。医薬品の扱い方や使用方法などについても日常生活で活用していけるように理解する。	1		
	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	ライフステージ(思春期・中高年期)や妊娠・出産について知り、結婚生活やそれに伴う避妊法と人工妊娠中絶と健康につながる道すじを学び、理解する。		1	前期
	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	働くことから健康にどのような影響を与えるかを知る。また、働き始めるとどのような労働災害があるのかなどについても理解する。自然環境についても理解を深める。		2	後期
	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	日常生活で利用する食品や保健・医療サービス、医薬品の制度について理解し、日常生活でも活用することが出来るようになる。また、健康からつながる環境づくりや社会参加について学び、理解する。		3	
評価方法	年度末の成績評価は下記の通り行う。 学習評価(観点別評価)□ 添削指導 面接指導 定期試験 知識・技能□ 60% 40% 思考・判断・表現□ 60%□ 40% 主体的態度□ 80%□ 20%□ 0%				
単位の修得	①レポート:規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:規定回数の全ての回に出席すること。 ③定期試験:前期試験1回、後期試験1回を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえ総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 [～2割:1、2割～4割:2、4割～7割:3、7割～9割:4、9割～:5]				
使用教科書等		教科書:現代高等保健体育(大修館) 学習書:現代高等保健体育 学習書 全国高等学校通信制教育研究会(大修館)			
学習上の留意点		スクーリングに出席する際は、教科書と学習書を必ず持参すること。 レポートは1年間で3枚配布するので、すべてを提出し合格が必要である。			